

# 金沢大学における情報システム融合化の試み(続報): 情報サービスのワンストップ化から情報流通のワン ストップ化へ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/40216">http://hdl.handle.net/2297/40216</a>

# 金沢大学における情報システム融合化の試み(続報) ～情報サービスのワンストップ化から情報流通のワンストップ化へ～

高田 良宏, 東 昭孝, 富田 洋, 藤田 翔也, 松平 拓也, 二木 恵, 笠原 禎也(金沢大学)  
yoshihiro@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

**概要** 本学では、2008年より全構成員に対する利便性向上、蓄積されるデータの信頼性確保、情報システム構築・運用コストの削減を目指し、データのワンライティング化、情報サービスのワンストップ化に向け情報システム融合化を進めてきた。現在、さらなる利便性の向上、データの積極的な利活用を目指し、情報流通のワンストップ化に向けて、運用環境までを含めた情報システム融合化を進めている。

## 前回の範囲

### 情報サービスのワンストップ化\*1を実現

- ① IDの集約(生涯IDの導入)\*2
- ② シングルサインオンシステム\*3と全学向けポータルシステム\*4の構築
- ③ 全構成員の基本情報の一元管理

\*1: 単一のサイト(ここではポータルサイト)に接続し、一度の認証を行うことで、基本的に全てのサービスを受けることができる状態を指す。  
\*2: 金沢大学ID, \*3: 金沢大学統合認証システム(KU-SSO), \*4: アカンサスポータル

## 今回の範囲

### さらなる利便性の向上と蓄積されるデータの積極的(戦略的)な利活用

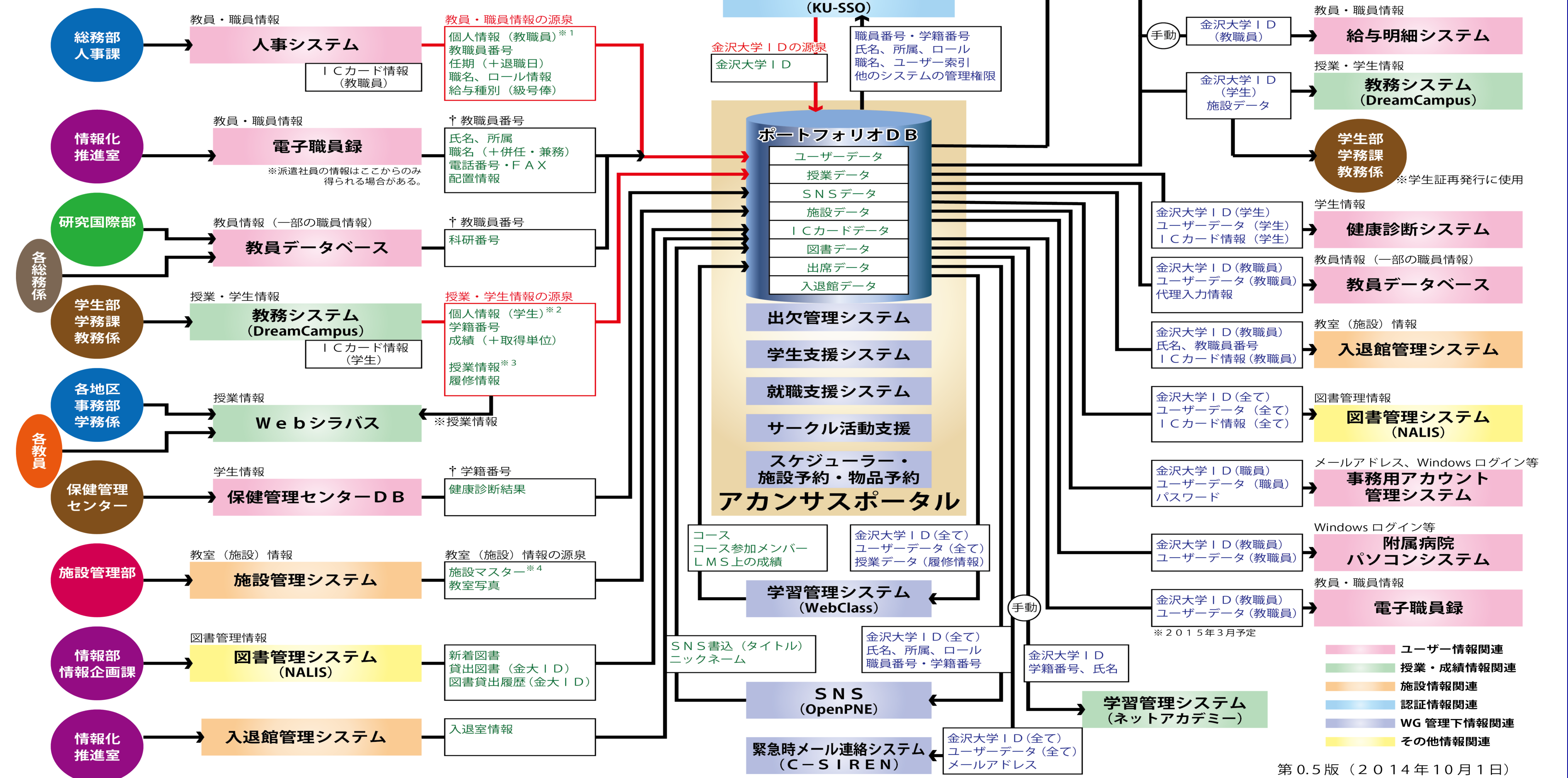
- ① 業務情報流通の整理
- ② サポート情報流通の整理
- ③ 学外システムとの情報流通の整理

### 情報流通のワンストップ化\*1を目指す

\*1: 学内情報および流通経路が集約されており、システム、または、利用者が必要とする情報を単一のアクセスで得られる状態を指す。

## ① 業務情報流通の整理

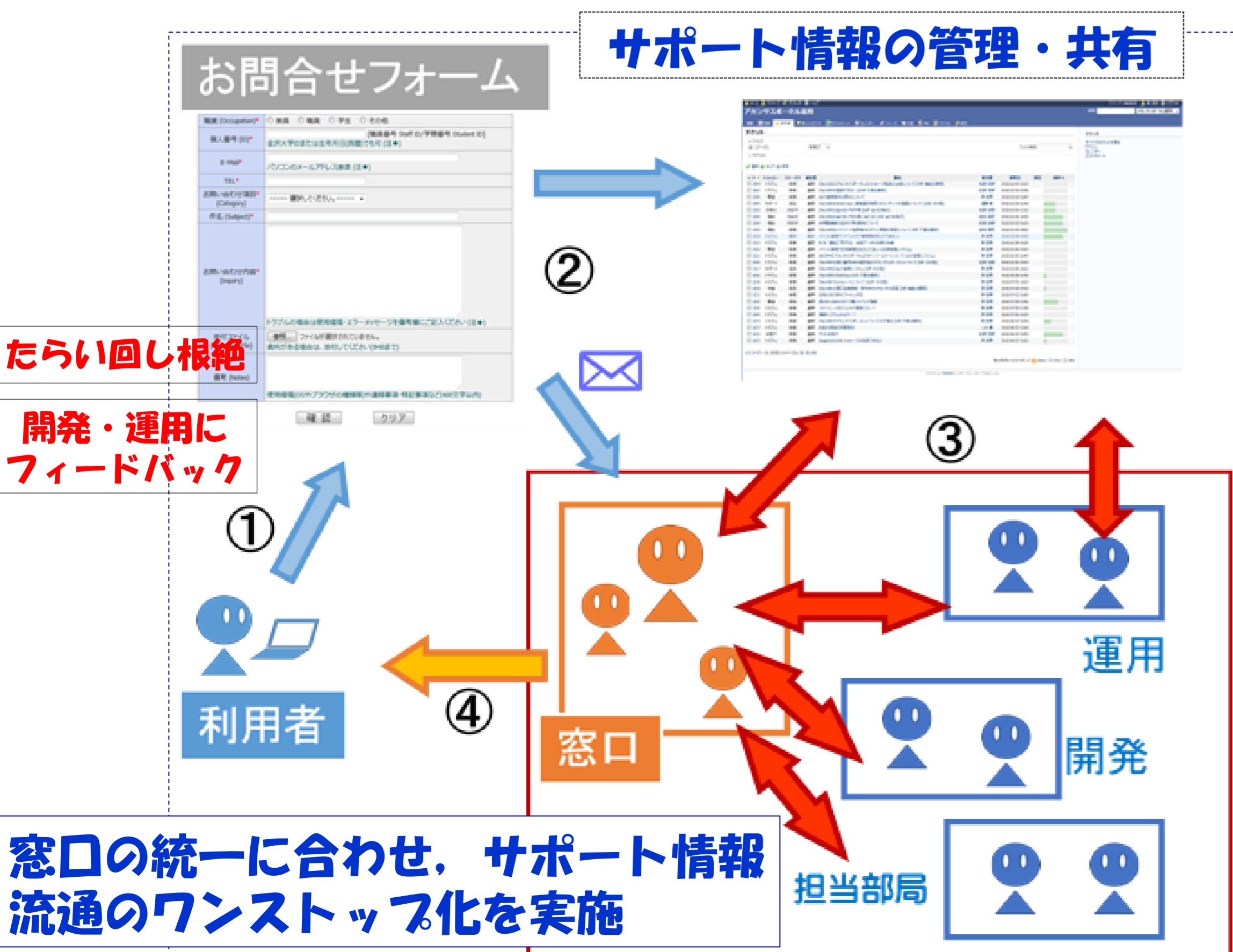
### アカンサスポータル(ポートフォリオDB)を介した情報流通体制



第0.5版 (2014年10月1日)

## ② サポート情報流通の整理

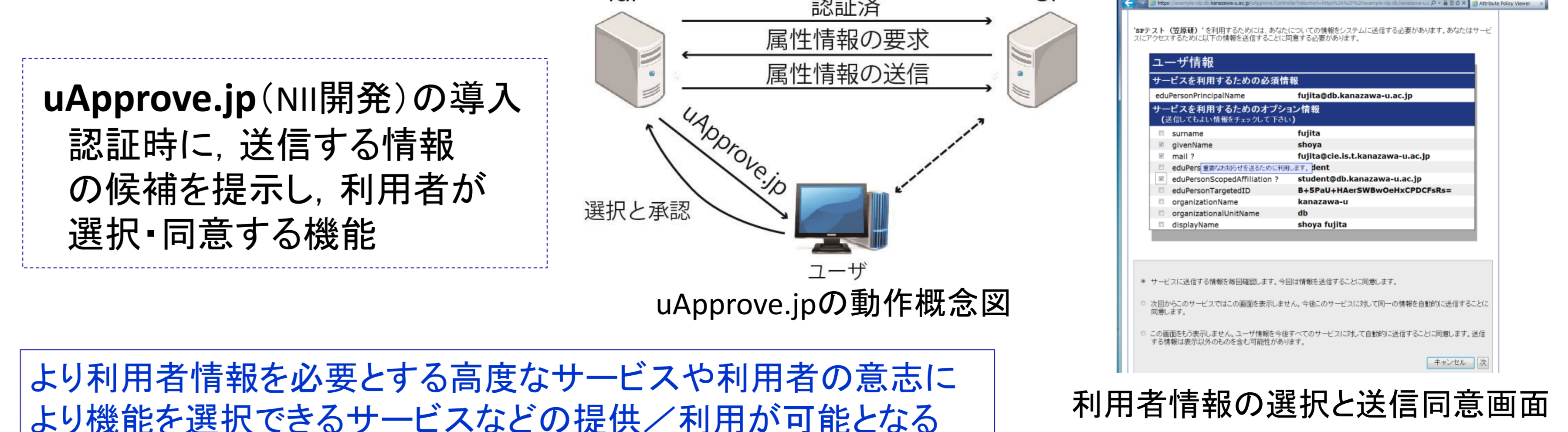
ICT関係の窓口サービスのワンストップ化を目指し、これまでばらばらだったサポート窓口を一元化した



## ③ 学外システムとの情報流通の整理

学認参加機関や大学コンソーシアムなど学外組織との認証連携により、それぞれの組織が提供する情報サービスを利用できる環境が整ってきた

今までは提供が困難であった利用者情報についても、学外情報システムとの間で情報流通のワンストップ化を目指している



**今後の課題**：今回の取り組みにより、より多くの情報の流通が期待できる反面、守るべき情報も多くなる。また、紹介したデータ流通に関する機能が停止すると多くのシステムに影響を与えるため、セキュリティや可用性など信頼性の向上が必須である。

本取り組みで取り入れた一部の技術の研究開発は、JSPS科研費(基盤研究(C), 23501140, 26350314)のもとに行われた。